2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　ニホンフラッシュ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7820　　ＵＲＬ　https://www.nfnf.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）高橋　栄二
問合せ先責任者　（役職名）取締役経理部長　　（氏名）石本　恭之　　ＴＥＬ　0885-32-3431

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　2026年11月24日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	8,791	△14.4	△158	―	△116	―	△403	―
2026年３月期中間期	10,274	△1.8	455	79.7	557	29.6	337	32.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,463百万円（―%）　2026年３月期中間期　△1,215百万円（-%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△17.71	―
2026年３月期中間期	14.83	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	44,913	33,593	73.2
2026年３月期	44,319	32,539	71.7

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　32,871百万円　2026年３月期　31,798百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	18.00	―	18.00	36.00
2027年３月期	―	18.00			
2027年３月期（予想）			―	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△10.5	1,400	△19.8	1,450	△28.8	900	△36.4	39.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	25,060,000株	2026年３月期	25,060,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,303,267株	2026年３月期	2,303,242株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	22,756,749株	2026年３月期中間期	22,756,758株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の堅調な動きを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中東情勢の悪化に加え、原材料価格や人件費、物流コストの上昇などにより、国内住宅市場を取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況にあります。

このような環境のもと、国内事業では、新規受注はもとより、受注済みの案件についても価格改定を進めるとともに、生産性向上によるコストダウンに全力で取り組みました。価格改定については、大半の御得意様からご理解をいただいております。また、生産面では、前年から導入を計画していたプレス工程の最新鋭設備の設置が完了し、省力化を含め、工場全体で30％の生産性向上を実現しております。

豊富な受注残を有していることに加え、価格改定後も順調に成約に至っていることから、下期は、これらの取組の成果を発揮し、収益向上と競争力強化につなげてまいります。

一方、中国経済においては、自動車、IT関連等の輸出企業が好調を維持しているものの、不動産関連企業は厳しい状況が続いております。また、若年失業率は20%を超える状況が続き、消費の低迷も長期化しております。

このような環境のなか、当第１四半期に発表致しましたとおり、事業構造の転換を進めております。具体的には、製品、販売先、販売対象国の多様化に取り組んでおります。この方針に沿って営業活動を進めた結果、契約締結や納入開始につながるなど、事業構造の転換を着実に進めております。

中国を中心に世界展開する大手ホテルグループで、2026年３月末時点で21カ国に進出し、13,215ホテル、130万室を運営している華住集団へ、同グループと共同開発した遮音ドアを軸に、当社製品の本格的な納入を開始いたしました。なお、当該製品の量産に対応する設備投資も完了し、今後の販売拡大に向けた生産体制が整い、下期以降の業績貢献が見込まれます。

また、台湾の潤泰グループが開発を進める南港駅直結の分譲マンション「南港の星」（979戸）では、本年８月にモデルルーム４室がオープンしました。同物件については、木製ドア、化粧造作材に加え、洗面化粧台、流し台、収納、フローリング等、当社の幅広い全製品を2027年度後半から納入する契約を締結しております。

さらに、アラブ首長国連邦、カザフスタンにおいても、現地販売先と業務提携等を行う予定です。

これらの海外案件向け製品は、中国工場から輸出する予定ですが、取り扱う製品が多岐にわたることから、現地の需要に対応し、恒久的な取引につなげるためには、ショールームとアッセンブル工場の整備が必要と考えております。

今回の中国事業の構造改革では、目先の数量拡大を追うのではなく、将来の成長を支える事業基盤の構築を優先しており、製造・販売数量の減少を当初から織り込んだ計画としております。当社は、この改革を単なる事業の立て直しではなく、中国事業の新たな成長につなげる重要な取り組みと位置づけております。製品・顧客・販路・生産体制の変革を進め、中国事業の「第２の創業」を実現し、再び成長軌道に乗せるべく、強い意志を持って取り組んでまいります。

なお、中国事業の構造改革及び今後の事業展開に関する具体的な内容につきましては、詳細が決まり次第、改めてお知らせ致します。

以上の結果、当社グループにおける当中間連結会計期間の売上高は、87億91百万円（前年同期比14.4％減）、営業損失は、１億58百万円（前年同期は営業利益４億55百万円）、経常損失は、１億16百万円（前年同期は経常利益５億57百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は、４億３百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益３億37百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計は449億13百万円となり、前連結会計年度末より５億93百万円増加しております。これは主に投資不動産の増加６億10百万円、受取手形及び売掛金の増加２億30百万円によるものです。

負債合計は113億19百万円となり、前連結会計年度末より４億59百万円減少しております。これは主に未払法人税等の減少２億６百万円、契約負債の減少２億15百万円によるものです。

純資産合計は335億93百万円となり、前連結会計年度末より10億53百万円増加しております。これは主に為替換算調整勘定の増加16億48百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.5ポイント増加して73.2％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月15日に公表しました通期の業績予想（売上高210億円、営業利益14億円、経常利益14億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益９億円）から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,626,733	10,587,566
受取手形及び売掛金	13,240,466	13,470,861
電子記録債権	351,555	303,912
商品及び製品	673,354	733,468
仕掛品	813,777	845,584
原材料及び貯蔵品	649,739	759,969
前渡金	54,385	121,860
未収入金	354,579	446,513
その他	107,244	232,616
貸倒引当金	△3,318,488	△3,687,455
流動資産合計	24,553,347	23,814,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,692,679	3,810,411
機械装置及び運搬具（純額）	1,720,369	1,816,726
土地	1,019,213	1,019,213
建設仮勘定	－	22,292
その他（純額）	111,460	186,376
有形固定資産合計	6,543,723	6,855,020
無形固定資産		
その他	832,905	850,504
無形固定資産合計	832,905	850,504
投資その他の資産		
投資有価証券	2,741,832	3,091,265
出資金	421,251	427,249
会員権	7,733	7,733
投資不動産	8,910,167	9,520,651
その他	308,265	345,689
投資その他の資産合計	12,389,249	13,392,588
固定資産合計	19,765,879	21,098,113
資産合計	44,319,226	44,913,010

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,454,433	4,391,887
電子記録債務	1,639,164	1,530,668
短期借入金	2,140,870	2,241,760
１年内返済予定の長期借入金	17,896	200,592
未払金	1,137,772	1,167,245
未払法人税等	426,749	220,282
未払消費税等	118,856	22,366
契約負債	590,507	374,771
賞与引当金	106,723	114,691
その他	63,078	32,605
流動負債合計	10,696,051	10,296,870
固定負債		
長期借入金	181,197	－
長期未払金	256,800	256,800
繰延税金負債	519,336	635,006
退職給付に係る負債	126,262	131,290
固定負債合計	1,083,595	1,023,097
負債合計	11,779,647	11,319,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,117,501	1,117,501
資本剰余金	1,825,186	1,825,186
利益剰余金	21,876,119	21,063,437
自己株式	△2,085,001	△2,085,019
株主資本合計	22,733,805	21,921,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,334,033	1,572,568
為替換算調整勘定	7,715,957	9,364,241
退職給付に係る調整累計額	14,296	13,311
その他の包括利益累計額合計	9,064,286	10,950,121
非支配株主持分	741,485	721,815
純資産合計	32,539,578	33,593,042
負債純資産合計	44,319,226	44,913,010

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	10,274,756	8,791,558
売上原価	7,758,373	6,917,469
売上総利益	2,516,382	1,874,088
販売費及び一般管理費	2,061,136	2,032,271
営業利益又は営業損失（△）	455,246	△158,182
営業外収益		
受取利息	81,841	96,763
受取配当金	60,305	79,026
為替差益	11,502	7,968
企業発展助成金収入	2,529	1,080
その他	52,764	26,748
営業外収益合計	208,942	211,586
営業外費用		
支払利息	17,589	33,559
手形売却損	34,962	14,417
減価償却費	49,566	104,439
その他	4,746	17,772
営業外費用合計	106,865	170,189
経常利益又は経常損失（△）	557,322	△116,785
特別利益		
固定資産売却益	456	3,530
投資不動産売却益	－	49,591
貸倒引当金戻入額	26,080	－
特別利益合計	26,537	53,121
特別損失		
固定資産売却損	4	224
固定資産除却損	343	33
減損損失	7,283	28,238
投資不動産売却損	38,623	186,164
特別損失合計	46,255	214,660
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	537,605	△278,324
法人税等	224,457	192,309
中間純利益又は中間純損失（△）	313,148	△470,633
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△24,241	△67,573
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	337,389	△403,060

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	313,148	△470,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195,378	238,534
為替換算調整勘定	△1,724,127	1,696,187
退職給付に係る調整額	92	△984
その他の包括利益合計	△1,528,656	1,933,737
中間包括利益	△1,215,508	1,463,103
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,135,164	1,482,773
非支配株主に係る中間包括利益	△80,344	△19,669

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。